

通商産業省

平成11・05・19資第6号

平成11年8月25日

原子力委員会委員長 殿

通商産業大臣



中部電力株式会社浜岡原子力発電所の原子炉の設置変更（1号、2号、3号、4号及び5号原子炉施設の変更）について（諮問）

中部電力株式会社取締役社長 太田 宏次 から平成11年5月19日付け本原計発第3号（平成11年8月11日付け本原計発第7号をもって一部補正）をもって、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、別添のとおり申請があり、審査の結果、別紙のとおり法第26条第4項において準用する法第24条第1項第1号、第2号及び第3号（経理的基礎に係る部分に限る。）に規定する許可の基準に適合していると認められるので法第26条第4項において準用する法第24条第2項の規定に基づき、当該基準の適用について、貴委員会の意見を求める。

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第26条第4項において準用する同法第24条第1項第1号、第2号及び第3号（経理的基礎に係る部分に限る。）に規定する許可の基準への適合について

1. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（以下「法」という。）第24条第1項第1号（平和利用）

本件申請に係る変更は以下のとおりである。

- （1） 雑固体廃棄物を効率的に処理するため、1号、2号、3号、4号及び5号炉共用の雑固体廃棄物熔融処理装置を設置する。
- （2） 3号炉の中性子源領域モニタ及び中間領域モニタを起動領域モニタに変更する。
- （3） 1号、2号、3号、4号及び5号炉の使用済燃料の再処理委託先確認方法を一部変更する。

これによって原子炉が平和の目的以外に利用されるおそれはないものと認められる。

2. 法第24条第1項第2号（計画的遂行）

本件申請に係る変更は以下のとおりである。

- （1） 雑固体廃棄物を効率的に処理するため、1号、2号、3号、4号及び5号炉共用の雑固体廃棄物熔融処理装置を設置する。
- （2） 3号炉の中性子源領域モニタ及び中間領域モニタを起動領域モニタに変更する。
- （3） 1号、2号、3号、4号及び5号炉の使用済燃料の再処理委託先確認方法を一部変更する。

これが、我が国の原子力の開発及び利用の計画的な遂行に支障を及ぼすおそれはないものと認められる。

3. 法第24条第1項第3号（経理的基礎に係る部分に限る。）

本件申請に係る変更に必要なとされる資金は、自己資金、社債及び借入金により調達される計画であり、申請者にはその経理的基礎があるものと認められる。